

県道 52 号(相模原町田)(JR 相模線立体交差部) 家屋事前調査業務委託(護岸部)特記仕様書

1章 総 則

1. 1 目的

県道 52 号(相模原町田)(JR 相模線立体交差部)家屋事前調査業務委託(護岸部)(以下、「本業務」という。)は、県道 52 号 (相模原町田)(JR 相模線立体交差部)道路改良事業における鳩川新設橋梁工事に伴い、工事施工箇所に近接する家屋・物件に対して、既存の状態(損傷・経年劣化による変状を含む)を把握し、工事による影響の有無及び程度を正確に判断するための資料を作成するものである。

1. 2 調査内容

調査対象とした家屋・物件の亀裂の状態や、傾斜の程度について2章2. 1のとおり調査箇所を選定し、測定・写真撮影等により調査する。

1. 3 所有者の意向確認

本業務において、調査のため必要に応じて家屋・物件に立入る。立入りに際し、事前に本業務の趣旨を十分に説明し、所有者の承諾を得るものとする。また、所有者が調査を辞退する場合、損傷と工事の因果関係を立証することが出来なくなるため、工事による損傷が発生しても補償できない旨を説明し、必ず辞退届を受領すること。

1. 4 建物への立入り等

調査にあたり、日時の取決め等を確認し、所有者または使用者の立会いのもと調査を実施すること。調査は個人の建物に立入るため、プライバシーの保護に配慮するとともに、トラブル等を未然に防止するよう留意する。また、所有者の意見を聴取するなど、建物の状況を確認する。

2章 調査

2. 1 調査項目

調査は原則として下記項目について実施する。調査方法は測定及び写真撮影とし、その損傷の有無にかかわらず必ず写真撮影をすること。

1) 建物の全景

調査対象建物における工事箇所・周辺建物との位置関係及び建物の種類がわかるように、全景写真を撮影する。

2) 外壁・基礎・たたき等の亀裂の幅・長さ

亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。

- 3) 内壁(タイル部を含む)の亀裂及び柱、回縁との隙間(ちりぎれ)の幅、長さ
内壁モルタルの亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。タイル張り部分の亀裂幅、亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。内壁と柱、回縁等とのすき間の測定及び写真撮影を実施する。
- 4) 天井の亀裂、縁切れ、屋根の損傷及び雨漏れ等のシミの幅、長さ
天井の亀裂幅、縁切れの測定及び写真撮影を実施する。
屋根の仕上げ材の現況調査を行い、写真撮影を実施する。
雨漏り等の痕跡の測定及び写真撮影を実施する。
- 5) 建物の沈下・傾斜、建物基礎の亀裂・変形及び柱・床等の傾斜
建物の基礎天端等のレベル測定及び建物の外壁面や柱等の傾斜値を測定及び写真撮影を実施する。なお、傾斜値は、必ず直行する二方向の傾斜状態を測定する。
- 6) 建具の建付け
建具の建付け状況について、柱や窓わくとのすき間の測定及び写真撮影を実施する。
- 7) 外構・工作物(塀・擁壁・門柱・門扉等)の沈下、傾斜、損傷
工作物の基礎天端等のレベル測定、傾斜値測定、亀裂幅・亀裂長の測定及び写真撮影を実施する。なお、傾斜値は、必ず直行する二方向の傾斜状態を測定する。
- 8) その他必要と思われるもの

2.2 測定

- 1) 亀裂、隙間の幅は、亀裂幅測定器等を使用し、0.1mm 単位で測定する。
- 2) 亀裂、隙間の長さは、亀裂の先端、発生端の直線距離 1mm 単位で測定する。
- 3) 柱の傾斜は、柱に沿って下げ振りをたらし、水糸 1m 間の柱から水糸までの水平距離を 1mm の値まで読み、その差をもって傾斜の程度を表示する。
- 4) 床の傾斜度は、2 方向について 1mm 単位で測定する。
- 5) 建付け状況は、閉じた状態で窓枠、柱等との隙間を 1mm 単位で測定する。
- 6) 建物等の沈下、傾斜の測定は、基礎や壁面等を利用して、レベル機器等を用いて 1mm 単位で測定する。

2.3 写真撮影

- 1) デジタルカメラを使用する。
- 2) 撮影項目は、上記の調査内容にしたがって状況を記録する。
- 3) 撮影対象をピンポール等で示し、次の項目を記入した黒板を入れて撮影する。
 - ① 撮影年月日
 - ② 所有者
 - ③ 撮影対象名
 - ④ 測定値、状況等
 - ⑤ その他

2.4 間取り平面図、スケッチ及び調査点の記

1) 間取り平面図

縮尺 100 分の 1 程度の調査建物の間取り平面図には、次の項目を記入する。

- ① 調査年月日
- ② 調査員名
- ③ 建物住所
- ④ 所有者名
- ⑤ 使用者名
- ⑥ 建物の種類
- ⑦ 構造
- ⑧ 経過年数
- ⑨ 調査立会者

2) スケッチ

写真記録を補足するため、必要に応じて実施する。

3) 点の記

亀裂幅、亀裂長、内壁と柱、回縁とのすき間間隔等の調査点及び撮影点を記入する。

2.5 留意事項

令和 7 年 11 月より河川護岸工事(左岸側)に着手予定のため、それまでに調査を完了すること。詳細な期限については、契約後別途指示する。なお、期限までに調査が完了しない場合は、事由が発生した時点で発注者と協議すること。

3章 報告書

3.1 調査報告書

調査報告書は、調査件名、調査内容並びに考察等を記述し、次の図書を含めるものとする。

1) 地域平面図 縮尺 1000 分の 1 程度、建物番号を記入。

2) 調査建物一覧表

次の項目を記述すること。

- ① 建物番号
- ② 所有者名、所有者の住所
- ③ 所在地、使用者名
- ④ 建物の種類、用途、経過年数、延床面積及び敷地面積
- ⑤ 損傷の有無、状況

3) 間取り平面図、立面図

縮尺 100 分の 1 程度

4) 写真説明表

次の項目を記述すること。

- ① 建物番号
- ② 所有者
- ③ 使用者
- ④ 所在地
- ⑤ 建物種類、用途
- ⑥ 経過年数
- ⑦ 損傷概要
- ⑧ 調査年月日
- ⑨ 立会人

5) 点の記

2章2.4 3)に準じて報告する。

3.2 写真集

1) 写真集サイズ

A4とし、1冊にまとめる。

2) 写真サイズ

原則として A4 に 3 枚程度とする。

3) 写真データ

電子データは、CD-R 等で提出する。

3.3 提出部数

報告書の提出部数は、製本 1 部とする。